

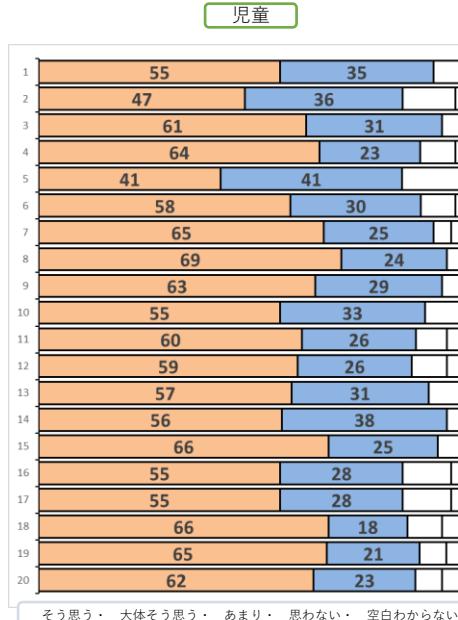
令和7年度学校評価（前期）結果について

平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。

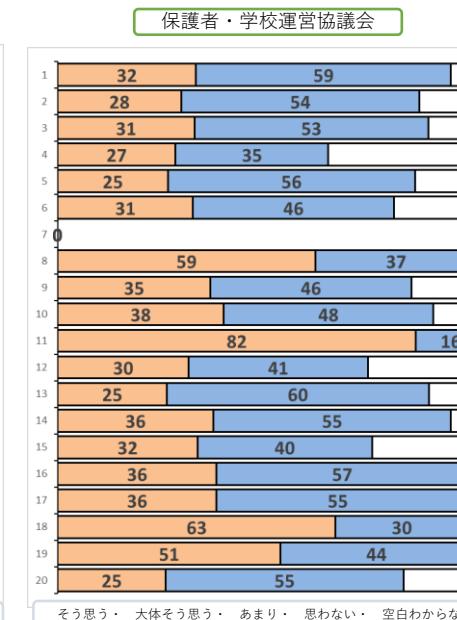
令和7年11月
新林小学校 校長 稲垣知裕

学校教育目標 「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく 新林の子ども～
重点目標 ◎自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ◎あきらめずに最後までやりきる。

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができますか
③	人の意見や考えをしっかりとることができますか
④	進んで本を読むことができますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに学習の準備をすることができますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができますか
⑦	授業や学校生活の中でもがんばったことを先生はほめますか
⑧	学校に楽しくやることができますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのいいあいさつができますか
⑪	朝寝、早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことももしゃいをおそれないでやるせんしていますか
⑭	自分から進んでそじや係活動（委員会活動）ができますか
⑮	学校のわいわいお家の人を見ていますか
⑯	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑰	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑱	おうちの人や地域の人からほめられることがありますか
⑲	うきの人の交流やゲスティーチャーとの交流、PTAごとうを楽しんでいますか



そう思う・大体そう思う・あまり・思わない・空白わからない



そう思う・大体そう思う・あまり・思わない・空白わからない

児童	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない	
	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	55	32	35	59	6	8	2	0
②	47	28	38	54	12	14	3	1
③	61	31	31	53	5	11	1	2
④	64	27	23	35	8	30	3	6
⑤	41	25	41	56	13	13	2	3
⑥	58	31	30	48	8	19	3	2
⑦	65	25			4		4	
⑧	69	59	24	37	4	2	1	0
⑨	63	35	29	46	5	17	1	0
⑩	55	38	33	48	8	12	2	0
⑪	60	82	26	18	7	0	5	0
⑫	59	30	26	41	8	25	5	2
⑬	57	25	31	60	8	13	1	0
⑭	56	38	38	55	4	6	1	2
⑮	66	32	25	40	6	24	1	2
⑯	55	38	28	57	11	4	4	0
⑰	55	38	28	55	11	4	4	2
⑱	66	83	18	30	8	4	6	0
⑲	65	51	21	44	6	3	5	0
⑳	62	25	23	55	6	18	6	1

※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

「確かな学力」（アンケート番号①～⑦）

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

アンケート①の「学校の勉強はわかるか」で90%の児童が「わかる・だいたいわかる」と回答しています。今後は、わかったことや見つけたことを「伝えたい」と「交流したい」と思う授業を構築していくことで、学習の定着を図っていきたいと考えています。また、タブレットを活用して学習を進めていくことで、個々に応じたペースで学習を進めることができます。自分に合った学習ができるように指導していきたいと思います。アンケート④「進んで本を読むか」の項目では児童と保護者の意識に差が見られる結果となりました。学校では中間に読書の時間に読み聞かせしたり、図書館司書と連携を取りながら図書室に入った新しい本を紹介したり、移動図書館に来たもらったときに親しみやすくなる活動をしています。また、PTA主催で選書会も実施しており、児童が自分で新しい本を選ぶなど、今後も子ども達が本に親しめる環境を充実させていきたいと思います。

② 話す・聞く力の向上

アンケート②の話すことは「できる・だいたいできる」が8割をこえる結果となりました。しかし、2割の児童は自分の考えを話すことに対して消極的であると考えられます。そのため、授業の中で自分の考えを話す必然性が生まれる授業の構築を心がけ、つねに授業改善に努めています。アンケート③の聞くことも高い水準を維持しています。今後も友達のよい意見を逃さず聞けるように指導していきたいと思います。

③ 家庭学習の習慣化

アンケート⑥の「家庭学習をすることができるか」の項目では、子どもと保護者との結果に少し差がある回答となりました。児童によつては宿題で手いっぱいになつてることもあり、自主的な学習まで行えていない状況があると思います。自ら学ぶ大切さを学校でも指導していきたいと思います。

「豊かな心・健やかな体」（アンケート番号⑧～⑯）

① 自己肯定感の育成

アンケート⑫の「自分にはよいところがあると思うか」の項目は、「そう思う・大体そう思う」と回答した児童は85%でした。多くの児童が自分の良さに気づいていますが、まだまだ気づけていない良いところがあると思います。気づいていない児童についても、友だちや教職員から伝えていくことで自分に自信がもてるようになってほしいと思います。

② 自己効力感の育成

アンケート⑬の「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しているか」の項目について、児童は普段の学校生活の中でも多くのことに挑戦する機会があります。学校ではそういった場面を作り、仲間と共に挑戦し、達成感を味わうことで、自信をもって次の課題に向かうように指導しています。例えば運動会などがよい例です。今後も挑戦する場を設け、自分の力が發揮できるように指導していきたいと考えています。

③ 楽しい学校

アンケート⑭の「学校に楽しく通うことができているか」の項目は、高水準を保っています。より安心・安全な場所になれるように、より一層努力していきたいと思います。

④ 基本的生活習慣の確立

アンケート⑮の「早寝・早起き・朝ごはん」の項目を見ると、児童・保護者共に「できる・大体できる」と回答しています。規則正しい生活や食事は成長期の児童にとって非常に大切です。今後も、規則正しい生活を続けてほしいと考えています。

「学校・家庭・地域との連携」（アンケート番号⑰～⑳）

日頃から様々な取組に対し、地域やPTAの方々にご協力いただきありがとうございます。

① 家庭・地域と連携

アンケート⑯の「お家の人はや地域の人からほめられることがあるか」では、多くの児童・保護者が「そう思う・大体そう思う」と回答しています。アンケート⑰の「授業や学校生活の中で頑張ったことを先生はほめますか」も90%の児童が肯定的な回答をしています。今後も良いことはしっかりと褒め、頑張ってほしいことも的確にアドバイスしながら指導していきたいと考えています。今の状況を明確にし、改善指導をしていくことが、児童の今後の成長につながっていくことだと考えています。

② あいさつ

アンケート⑰のあいさつについては、多くの児童・保護者が肯定的な回答をしています。登校時や下校時に見守り隊などの地域の方、保護者の方の優しい声掛けがたくさんあることで児童が安心してあいさつできると思います。引き続きよろしくお願ひいたします。

